

## 会 議 録 (概要)

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| 会議の名称                         | 佐渡市子ども・子育て支援会議   |
| 開催日時                          | 平成 29 年 (2017) 12 月 21 日 (木) 10 : 00 開会  |
| 場所                            | 金井コミュニティセンター 2 階 大会議室  |
| 議題                            | 佐渡市子ども・子育て支援事業評価について   |
| 会議の公開・非公開<br>(非公開とした場合は、その理由) | 公開   |
| 出席者                           | 参加者 有識者・子育て中の親 10 人<br>事務局 佐渡市市民福祉部 子ども若者課 課長 市橋法子<br>課長補佐 鶴間克己、子育て企画係長 菊池恵美子<br>主任 中村伸一<br>説明員 12 人 |
| 会議資料                          | ・平成 27.28 年度佐渡市子ども・子育て支援事業評価   |
| 傍聴人の数                         | 0 人  |
| 備考                            |  |

| 会議の概要 (発言の要旨) |  |
|---------------|--|
| 発言者           | 議題・発言・結果等  |
| 事務局           | ○会議開催趣旨説明  |
| 事務局           | ○平成 27・28 年度子ども・子育て支援事業評について主な事業等を説明   |
| A 氏・B 氏       | 【質疑応答】<br>1. 子育て<br>○佐渡市のむし歯有病者率は高いが、フッ化物歯面塗布についての現状を聞かせてほしい。どのように分析しているか。   |
| 事務局・説明員       | ○27 年度、3 歳児のむし歯有病者率は県内ワースト 1 位だった。ワーストからの脱却を図るため、29 年度から歯科衛生士が各保育園・幼稚園で仕上げ磨きの指導を行っている。祖父母に対してはおやつとの与え方や歯磨き指導などを行っている。来年度以降も保 |

|         |  |
|---------|--|
|         | <p>護者、祖父母への働きかけをしていきたい。佐渡歯科医師会・保健所・市で月に1回、子どものむし歯予防実行会議を開催し、現状の分析と対策を検討している。佐渡は肥満が多くおやつを取り方に問題があることがむし歯にも関連している。フッ化物歯面塗布は年に4回、1歳児から塗布券を配付している。実施率は28年度は48.9%であった。実施率の向上に向け取り組んでいる。</p> |
| C氏      | <p>2. 親育ち<br/>○離乳食講習会が島内1か所のみですることには無理があるのではないか。</p>   |
| 事務局     | <p>○親育ちの親の講座として実施している。次年度以降の拡充を検討していきたい。</p>   |
| C氏      | <p>○心の教室相談員は現在何ヶ所に配置されていて、今後何ヶ所増やす予定があるか。</p>  |
| 説明員     | <p>○心の教室相談員は5名で各中学校に配置している。小学校には配置していない。悩んでいる子ども達が気軽に相談できる保健室のような場所を設けてある。先生の目を離れて違う目で自分達を見てほしいと子どもは思っている。今後も相談員を増やしていきたいが、今のところ5名で対応している。</p>   |
| C氏      | <p>○パパママセミナーは島内で出産する人には仲間作りに有効であるが、里帰り出産や転勤などで佐渡に来た人は仲間作りが進みにくい。妊娠中に各地でセミナーを開催できないか。</p>   |
| 事務局・説明員 | <p>○助産師からの提案で10月からプレママカフェがスタートしている。定期的に場所を決めての開催は難しいが、10月は両津、12月、2月は新穂で開催を予定している。次年度以降の計画を助産師会と相談をしている。課題になっている産後うつなどの取組を考えている。</p>  |
| D氏      | <p>○ブックスタート事業について、羽茂地区は、平成28年度まで羽茂図書館の職員が読み聞かせをしてくれており、その流れで図書館利用をすることができていた。平成29年度からは、土・日曜日の開館に伴い、健診のある水曜日を図書館が休館することとなり、せっかくよい流れができていたのに、活かされない状況である。休館日の変更など検討できないか</p>             |

|     |  |
|-----|--|
| 説明員 | ○健診等の日程を考慮しながら、来年度に向けて休館日を検討したい。   |
| C氏  | ○情報整備について、誰でも見られる情報発信はどのような形で整備するのか。   |
| 事務局 | ○トキっ子応援プログラムを窓口に置いて子育て支援を紹介している。子育て支援情報誌は年度で修正していくのは難しい。ホームページなどの情報ツールを使って、市民にわかりやすく気軽に情報収集ができるよう発信したい。来年度ホームページの構築については担当課と充分議論し他の自治体の事例を参考に組みみたい。  |
| A氏  | ○親育ちのペアレントトレーニング、NPプログラムは頑張っている。参加していない方からアンケートをもらうのも1つの方法である。参加の状況、活動を紹介して働きかけるのはどうか、参考にしてほしい。  |
| 説明員 | ○二つの事業に関しては参加した人からの満足度はとても高いが、何をしているのか分かりづらいとの意見がある。そのため自分から申し込む人が少ない。今ご意見いただいたものを参考に担当と考えていきたい。   |
| B氏  | ○ペアレントトレーニングなどは紙ベースの宣伝ではなく、人づてに宣伝してもらうのがよいのではないかと。ペアレントトレーニングはもともとADHDのお子さんの親のトレーニングでできたものである。考え方は学校の現場、家庭でも一般にコミュニケーションのベースになる。一般の保護者にもよさを周知してはどうか。ペアレントトレーニングは子育てしている親も気持ちが悪くなるし子育てが楽しくなる。 |
| 事務局 | ○ロコミは同じ悩みを抱えている人同士で非常に有効だと思う。一般の研修でもやっていることを伝えていき、取り入れられるように担当とも相談してみる。  |
| E氏  | ○ゲーム、スマホ、パソコンの使い方について、小中学校での現状はどうか。  |

|     |   |
|-----|---|
| F 氏 | <p>○佐渡市PTA連絡協議会で目安になるものを作って各学校に配布しPTA総会等で取り組んでいる。その取組をどの程度徹底しているかは小中学校によって違う。これは子どもたちの生活そのものであり、子ども同士のトラブルも発生しており、もっと大きなものに発展する危険性もはらんでいる。各学校で保護者、子どもに対して情報モラルの指導をすることは不可欠なものと思っている。</p>  |
| B 氏 | <p>○学校では高等部、中等部の生徒に対してドコモやラインの会社から使い方の指導をしている。保護者が携帯電話を管理することが重要だと思う。ダメだと叱るのではなく、正しい使い方を子ども達に指導している。スマホはコミュニケーションをとるのに必要なものである。新潟大学の心理学の神村栄一先生に講演してもらった際に紹介していただいた本「2時間の学習効果が消える！やってはいけない脳の習慣」（青春出版社、横田晋務著）ではスマホの使用で学習効果が消えてなくなるとある。自分でコントロールする力を子ども達につけさせる必要がある。</p> |
| B 氏 | <p>3. 地域育ち</p> <p>○(2) 子育て支援の居場所づくりについて平成27年度は二重丸で平成28年度は丸なのはどうか。実際の延べ人数、利用頻度は平成27年度から28年度は減っているのか。</p>   |
| 事務局 | <p>○子どもの創設事業は空き店舗空きスペースの改修をした場合や子育て支援団体の運営費に対して1/2補助をしている。平成27年度は1団体が場所を移転して改修を行ったので二重丸にした。28年度は新たな居場所の創設がなかったため丸にした。補助金が1/2で使い勝手が悪いと聞いているので使いやすく見直しを図っていきたい。場所自体は増えていない。利用については数値までは把握していない。</p>   |
| C 氏 | <p>○支援団体として子育て支援の居場所づくりの1/2補助はハードルが高い。子育て支援団体を支援する話があったが、お金がない支援団体は多く使いやすいものがあると強い団体となって育つと思う。地域に根ざすものに使えるとよいと思う。条件を子ども食堂に使えるような形にするとよいのではないか。</p>  |
| 事務局 | <p>○子ども食堂は畑野で実施し好評であった。そちらを参考にして今後の展開に繋げていきたいと考えている。</p>  |

|         |   |
|---------|---|
| B氏      | ○関連して、市の関連施設や学校の空き教室などをこういう場に使えないか。   |
| 事務局     | ○放課後子ども教室のように利用できるとよいと思う。放課後子ども教室は社会教育で取り組んでいる。毎日やると担い手、人材確保が課題になる。旧両尾小学校の親子イベントのように遊休施設を使って子ども達が親子で関われる場を作ることを少しずつ進めていけたらと思っている。   |
| B氏      | ○ファミリーサポートセンター事業で、利用金額をもう少し下げられないか。   |
| 事務局・説明員 | ○議会でも同様の意見を頂いており、料金は県内の平均的な金額である。今の段階では利用料の変更は考えていないが、他市の状況を参考にファミリーサポートセンターの利用や妥当な価格設定を含めて検討していきたい。  |
| D氏      | ○放課後子ども教室について、世話人などの養成は市の働きかけがあると良い。勉強会、意見交換会などをお願いしたい。   |
| 事務局・説明員 | ○昨年度から羽茂放課後子ども教室が始まり、県の講習会などに参加していただいている。社会教育と一体的に取り組んで地域人材の育成をすべきと考えている。研修等の要望があれば連携してやっていきたい。   |
| C氏      | ○(6) 仕事と子育ての両立の推進について、育児参加や家事参加をしているお父さんが増えて建設的な意見が出ている。お父さんが働きやすい環境や夫婦の働き方など今後の展開をどのように考えるか。   |
| 説明員     | ○男女共同参画の懇談会の中で女性活躍推進法が成立したことで、男女共同参画の計画の見直し改定をしている。秋にアンケートを事業所向けに行い、その中で女性の就業率の向上、働き方の改革など実際どのような取組が行われているのか集計をしている。結果をまとめて年明けに懇談会で報告させていただきたい。働き方に国の大きな流れがあるので計画改定の中で見直しをしていきたいと考えている。 |

|     |  |
|-----|--|
| C氏  | <p>4. サービスの充実・環境の整備</p> <p>○子どもの放課後について、学童保育と放課後子ども教室を1か所にできないか。佐渡市の企画はないか。</p>  |
| 事務局 | <p>○担当課が違うだけで、対象とする子どもに違いはない。厚生労働省と文部科学省の国の省庁がやっている事業の違いで大きなハードルだと思っている。佐渡としていろいろな事業を取り入れて社会教育課と相談しながら進めていきたい</p>  |
| C氏  | <p>○子育てエンジョイカード事業について使えるお店が非常に少なく島外で使えない。トキっこクラブカードは島内外で使える。島外の人が使えれば加入する事業所も増えて効果的があるのではないか。</p>  |
| 事務局 | <p>○市として島外で使えることはメリットだと思う。今、魅力的なサービス内容の見直しや事業所のアンケートから有効利用されていないとの意見もある。例えば、病後児保育室を利用した時、エンジョイカードの提示で半額になる。このように市の事業でも広めていくことを考えている。毎年、印刷して配ることで終わるのみでは成果はないと思うので見直しの必要なところである。</p>  |
| B氏  | <p>○子育て、親育てを含めて生まれる前から子ども達を支援して見守ることができたらと思う。生まれる前の親育ちの事業など関連して家庭や子どもなど気になるところがあれば把握をして支援する体制が行政でできればよいと思う。</p>  |
| 事務局 | <p>○切れ目のない支援の実施のために子ども若者相談センターが中心となって、しまびとジュニア支援事業を進めている。義務教育から高校への流れは完全に把握はできない現状である。課題は高校生の部分で中学校卒業後に関わってくることが多い。子ども若者相談センターが取り組んできてから学校との連携を図れるようになった。いじめ・不登校などの原因によって学校に行けなくなった子ども達は家族を巻き込んで支援を一体的に考えていきたい。取り組めるものは実施していきたい。</p> |
| C氏  | <p>○子ども・子育て会議の全体的な進め方と考え方について、集まって会議をするほかに、部会などで意見を吸い上げられるような進め方を考えていただきたい。子育て支援側として必要な支援を具体的に伝えることを考えなければならない。お金をかけ手厚く支</p>   |

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | <p>援をすればその先が変わってくる。行政で施策を考えてほしい。</p> <p>○会議のあり方もやったという形だけでは何も進まない。今回皆さんにご意見を伺い、後押しすることを考えたい。子育て支援として子ども若者センターや教育委員会が入って指導し、しまびとジュニア事業と繋げていけたらと思っている。今のご意見や内容に応じて支援体制の幅を広げていかなければと思っている。</p> |
| G氏  | <p>○パパママセミナーの参加率が低い。男性が休みを取りやすい土曜日、日曜日にしたら良いと思う。</p>  |
| 説明員 | <p>○パパママセミナーは参加しやすいように28年度は土日に開催し、29年度は日曜日に開催している。</p>  |
| C氏  | <p>○出会い事業では婚活パーティだけになっているが、他の地区では地区の人たちのおせっかいを繋げるなかで婚活している。地区のおじさんおばさんを活用する事業は使えるのではないかと。</p>   |
| 事務局 | <p>○事業として活用するかはご意見として承りたい。</p>  |
| D氏  | <p>○紙おむつ用のごみ袋の配布について、サイズが小さくおむつ専用のごみ袋として使っているか経済的負担軽減に有効だったか疑問である。他の自治体は紙おむつ専用のごみ袋を新たに作っている。子どもに限らずおむつ専用のごみ袋のサービスも一考いただきたい。</p>   |
| 事務局 | <p>○市長と子育て世代の意見交換会の中でサイズが極小から小になった。環境対策と相談させていただきたい。意見として承りたい。</p>  |
| H氏  | <p>○佐渡市の不登校の数は県でもトップクラスである。子ども若者相談センターと相談や連携をして改善に取り組んでいる。地域を活用した取り組みをすることで子ども達が元気になる可能性はあり連携の大切さを感じている。市も課の境をなくして子どものためにみんなで一丸となって進んでいけたらと思っている。</p> <p><b>【閉会】</b></p>                    |